

# 海外研修視察報告書

平成30年7月15日

長崎県議会議長 様

長崎県議会議員

浅田ますみ

海外研修視察について下記の通り報告いたします。

## 記

1. 期間 平成30年5月30日（水）～平成30年6月2日（土）
2. 視察先 中華人民共和国 深圳市
3. 同行者： 菅原直敏氏（神奈川県議会議員）中村たけと氏（神奈川県議会議員）  
鈴木綾子氏（江東区議会議員）加藤祐介氏（横須賀市議会議員）  
小林伸行氏（横須賀市議会議員）  
渡邊一徳氏、内田けんと氏、寺田あやと氏
4. 企画： 株式会社 ホワイトホール（チラシは別紙にて添付）
5. 視察目的  
1979年に成立された深圳市は、この40年間で総人口2000万人と言われる巨大都市へと発展した地域であり、中国のシリコンバレーと言われている。高齢化率3%で、中国全土から若い人が集まっている。政府主導でインフラを整えていることから、世界でも著名な企業が多く集積している都市である。  
人口減少、高齢化率が高く労働人口が著しく減少している本県は、今後、テクノロジーの導入によって人手不足を補っていくことが不可欠である。そのため、社会インフラへのテクノロジーの導入が進んだこの地において知見を深め、本県のIoT事業の推進、社会インフラ推進観光政策の推進を図るための視察である。
6. 調査結果、成果、今後県政への反映方策などについて

## 5月31日（木） ① 華強北（ファーチャンベイ）

深圳の秋葉原と言われる電子街。中国でも最大の電子街であり、秋葉原の30倍とも言われるほどの広さ。携帯電話も一から作れるほど部品は何でも揃っているが、日本製に比べるとやはり質はおちるとのこと。ただ、まずはスピード重視で作ることが大事であり、その後、商標のとれたものから販売を展開。昔の中国のイメージから考えると商標をとるという発想がなかったように思うが、この街に来ただけで中国へのイメージは大きく変わる。

ドローンストリートやショップが増加しており、eスポーツストリートにも若者が多く集まっていた。



オレンジ5個生搾り…飲みたいと思っても、wechatpayなしでは何も買えない。観光客のことなどはほとんど考えられていないようにも思う。なんでも揃う電気街において、観光客だけで行くと、クレジットカードが対応できないところなども多数あり、ある意味、不便を感じた。長崎においては、早くから中国人対応のためのカード導入などをやってきたが自国民以外は、あまり目に入らぬという感じかもしれない。

## 5月31日(木) ② アルファ無人バス

国家智能交通システム研究開発センターと深圳巴士集団による共同開発。

このアルファ無人バスは1992年に運転者だけのワンマンバス運行で始まり、1996年にIC導入、それが20年で無人バスの開発への速いスピードで進んでいる。中国初の公道での無人バスとして、公道で1万キロは試走行済。法律がまだクリアになっていない部分はあれど、開発途中の部分はあれど、公道での試行運転を開始するのが中国。また昔と違い、100%国産車としての開発で中国の発展ぶりが伺える。



## 5月31日(木) ③ シェアサイクル

2015年ごろよりシェアサイクルが増加し、数多くの企業が参入していた中で、現在は二社が残っている。オレンジはテンセントで500万弱のユーザー、黄色はアリババが支援し600万人強のユーザー。籠の部分がソーラーになっている。電子マネー決済で、アプリでQRコードを取得し、どこでも乗り捨てができる便利さゆえに爆発的な人気につながったと考えられる。自転車を回収する人がいて、それをラックに整理し、また利用となるシステムである。

30分1元(16.25円)ほど。日本では決済が課題と言われている。一方、どこにでも乗り捨てる事が出来るため、廃棄化された自転車も多く、現在回収作業が間に合わず、あちこちに自転車の山が散見されるのが問題でもある。





デポジットと誰がどう走っているのか、  
このデータが企業としては大きな魅力である。

## 5月31日(木) ④ セミナー参加



開催日時：2018年5月31日(木) 19:00~(開場18:45)  
会場：TechTemple 科技寺 (深圳市福田区香洲三浦三中国地质大学产学研基地2層)  
言語：日本語  
会費：無料  
定員：70名 ※ご応募多数の場合は先着順となります  
申込：https://speeda0531.peatix.com または右のQRコード  
参加対象：中国でビジネスに携わっている方、SPEEDAのユーザー様、SPEEDAの導入に関心をお持ちの方



18:45 受付開始  
19:00 ご挨拶・SPEEDA/NewsPicksのご紹介  
19:15 講演  
①『コピーする深センからコピーされる深センへ』高須正和氏  
②『中国ドローン産業の動向と注目分野』川ノ上和文氏  
③『中国双創の状況』田中一年氏 (※双創とは創新：イノベーションと創業：スタートアップの総称)  
トークセッション変革を続ける深セン市場、日本企業としてどう動くか!  
【聞き手：ユーザーズチーフアジアエコノミスト 川端隆史氏】  
20:50 質疑応答  
21:00 交流会 (軽食・ドリンクを準備しております)  
22:00 終了予定



**高須正和氏**  
スイッチサイエンス 副社長/グローバルビジネス開発  
1974年生まれ。世界的なDIYの祭典メイカーフェアのうち、アジアで行われるものに世界一多く参加し、深圳・シンガポールでは運営も担当。  
メーカー向けツールキットを販売するスイッチサイエンス(株)のグローバルビジネス開発部長として、現在、中国深圳在住。  
連載一覧など：https://medium.com/@tks/takasu-profile-c50fee078ac



**川ノ上和文氏**  
株式会社エクスティングジャパン/真彩創研(深圳)有限公司 - 創業者CEO  
20歳の時に北京へ留学。その後北京、上海、台湾、深センで活動後、2017年に深センでエクスティング(真彩創研)を創業。現在は日本法人(エクスティングジャパン)も設立し、ドローンをはじめ新興産業調査や現地ネットワークの構築、キーマンや業界団体との関係強化等のコミュニケーションサポート業務を手掛けている。深圳市航空業協会に国際部を設立し、日中のドローン産業の情報ハブとしても活動中。



**田中一年氏**  
最新 Takumi Innovators - 創業者CEO / XNode 創設無償 - マネージングディレクター  
日本で唯一の日中スタートアップ&イノベーション交換プラットフォーム「匠新」の創業者。また中国で最も国際的な同プラットフォーム(XNode)のマネージングディレクターも兼任。2013年の設立以前はドイトマト(東京/上海)にて12年間M&Aや投資コンサル、IPO支援、上場企業監査等に従事。東京大学工学部航空宇宙工学専攻。米国公認会計士、中国公認会計士科目合格。  
日経クロストレンドでBAT記事を連載。http://trend.nikkeishop.co.jp/arc/content/technology/00004/



**川端隆史氏**  
ユーザーズチーフグローバル SPEEDA チーフアナリスト兼NewsPicks編集長  
2015年よりユーザーズチーフ/NewsPicksに参画。外交官×エコノミストの経歴を志し、現地主義に基づいたリサーチを行う。共著書に「ポスト・マテリアル時代のマテリアル」、「マテリアル救済下のマテリアル」(共にアジア経済研究所)、「東南アジアのイスラム」(東京外国語大学出版会)。

### 「進化を続ける深圳 2018年は行動の場へ」

このセミナーに参加できただけでも、今回の視察の意味は大きかったという一度に深圳の現状がわかるセミナーであった。中国というとコピーされる国とのイメージをいまだに持つ人が日本の中には多いが、今となっては逆の方向へと進んでいる。モバイル決済にしてもドローンの活用にしても、大きく深圳は進んできている。

日本はドローンの規制が厳しいが、中国の事例を示した上で、進めていくべき農業分野でのソリューションはあるのではないかと。ドローンビジネスも日本でも増えつつある。長崎においても、離島、半島も多く抱え、人口減少の中で、様々な活用法があると考えている。

このセミナーで印象的だったのは、世界に出た人が敢えて深圳に戻る現状にはスピード感の違いがあるということや意味ないことはやらないという意識。

そして、マネすることがリノベーションを早めるという感覚。中国でのスタートアップ企業が多いのも理解できる。



## 6月1日（金）① 無人ジム SUPER MONKEY



SUPER MONKEY は無人ジム wechatpay で予約と支払いができ、コンテナ型、店舗型があるそう。

大体、1時間 50 元（約 812 円）。住宅地にはシェアランニングマシンなどの安価なものも設置されている。

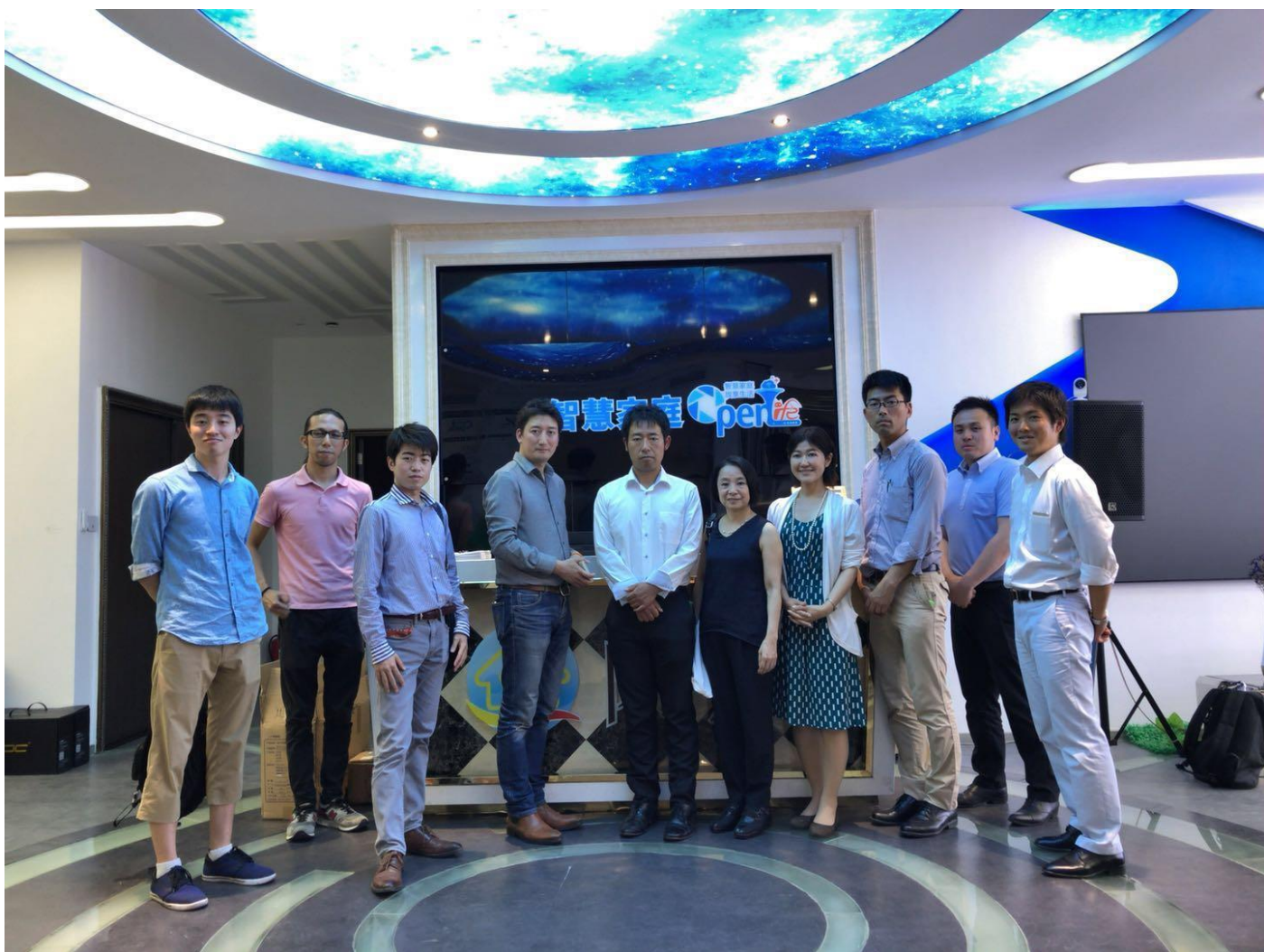


## 6月1日（金）② スマートホーム関連企業

日本でも注目のスマートホームの視察。鍵は顔認証でオープン、照明、扉の開閉などはロボットへ一言かけ…様々なことが可能になるというモデルルームを視察。この市場は3兆円規模になるとも言われている。

コストなど課題もありますが、福祉の分野などで日本でももっと進めたい。

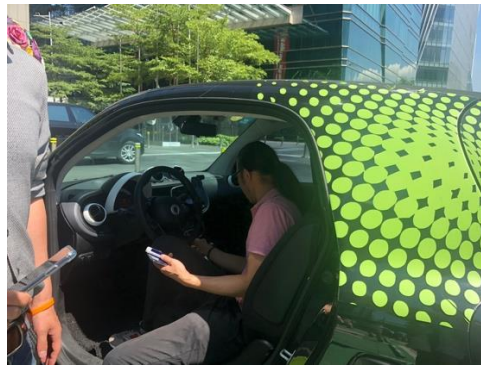




## 6月1日（金）③ シェアリングカー

深圳では、シェアサイクルと同様、シェアリングカーの普及が急速に進んでいる。ショッピングセンターなどでも数多く見られる。スマホでオープン。スマホがあれば、予約から開閉から、支払いまで全て事足りる。





6月1日（金）④ 鴨肉加工品店 周黒鴨

鴨肉加工品を売っているお店と wechatpay が連携した顔認証店舗。事前登録すると、顔認証で入り口に入り、スマホもなしで、画像認識で購入できるという深圳でも最新のものらしい。

入り口のカメラで、顔認証をして入り、スマホで QR コードを取得し、商品  
を精算台におき、カメラが認証してからの精算となる。

Wechat pay で画像認識までは出きるが、支払いは wechatpay が  
利用できないと買えないため、お土産にしたいとも観光客は買えない。



# 6月1日(金) ⑤ 無人コンビニ

前日から様々なタイプの無人コンビニへ。



QRコードで扉をあける無人コンビニ。購入品のタグをセンサーが読み取り、QRコードで支払いブースをあけ、wechatで支払う方式。

タッチパネル方式





薬局もあったが、風邪薬や酔い止めなどの医薬品もあったが、メインは日用的雑貨。



4つ目はロボット対応コンビニ。

家電メーカーが経営しており、24時間のイトインとしては便利である。

長崎でも、人材不足の今、人員不要、現金回収の危険さなどもない利点が考えられる。



## 6月1日（金）⑥ ソフトウェアパーク

深圳市の中で、南山区と言われている場所が最も街の発展を産む場所と言われている。百度、アリババ、テンセント（BAT）の本社が位置し、スタートアップ企業が多数。政府が、人材育成にも力をいれ、大学のインキュベーションセンターや起業のための環境づくりも行なっている。

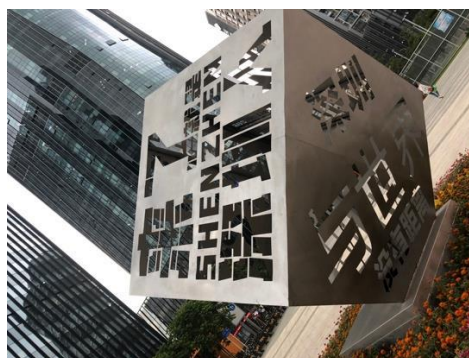
この地域は、南山区から 10000 件ほどのパテント申請がある。300 のプロジェクトが生まれ、世界 500 社に名を連ねる 3 社もここに位置する。

下記の写真が、今の深圳を表している。

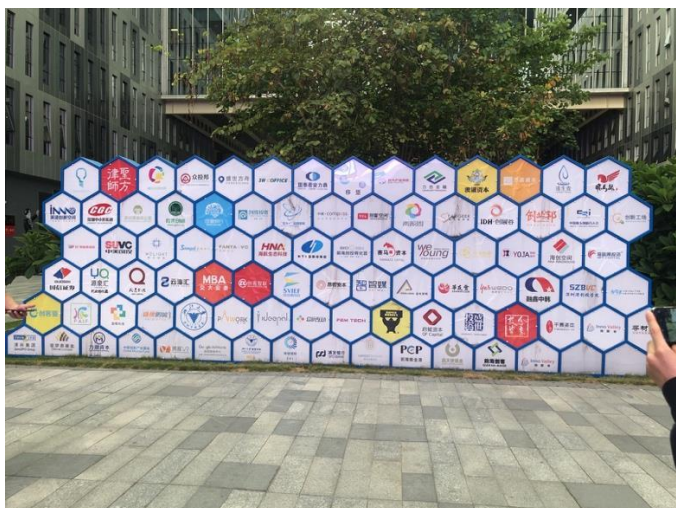
党と一緒に創ろう！

深圳と世界に距離はない！

来たら、みんな深圳人！







6月1日（金）⑦ 無人カラオケ



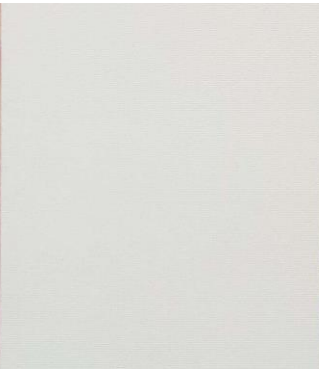
wechat pay での支払いなので、集金業務なし。  
 お金がないから安全。  
 待ち合わせになどの空いた時間に利用できることが  
 人気のポイント。



6月1日（金）⑧ マーズサミット・清華大学研究院



インキュベーションセンターの中にあるマーズサミットへ。マーズサミットはイベント企画や企業向けツアーの企画。東京の GMIC とも連携している企業。講演会にも様々な方を呼んでいる。このインキュベーションセンターにある企業の特徴について伺い、その後、清華大学研究院にて、スタートアップの支援状況を伺う。



深圳は誰でも平等に…が、発展の大きさであり、人材を集める為の政策はしっかりとある、政府管理の住宅が南山区だけでも 366 戸ある。高度人材確保の為に大学の誘致にも力をいれている。税金減免制度なども整っている。

**Numbers about Shenzhen**

- Age: 39 years old (1979)
- Population: 12.5 millions (2017)
- GDP: 2243.8 billions RMB (2017) —The fastest-growth city in the world
- World-class Company: Tencent, Huawei, DJI, BYD, vanke...
- Unicorn Company: 14

**Policy in Shenzhen**

- **Talent introduction of rent subsidy (人才引进租房补贴):** 15,000 for undergraduate, 25,000 for master, 40,000 for doctor
- 366 Companies from Nanshan District got **Talent apartment by Government (政府人才公寓)**
- **Education:** Tsinghua University & UC Berkeley joint university (清华-UC Berkeley 联合大学), Peking University (北京大学研究生院), Chinese University of Hong Kong (香港中文大学深圳分校), Shenzhen MSU-BIT University (北理莫斯科大学深圳分校), Sun Yat-sen University (中山大学医学院) ...
- Enterprise tax

例えば、insta360 は 360 度カメラ製作でのびている。深圳だからこそ試作を簡単に作る事がやり易かった事も勝因。日本とはここが大きな違いである。

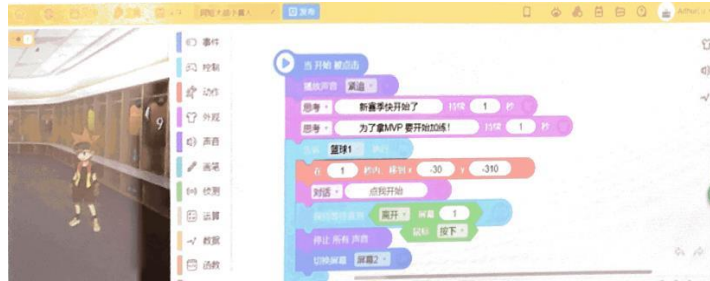
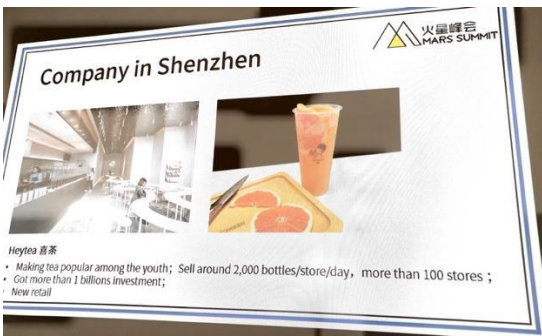


**Company in Shenzhen**

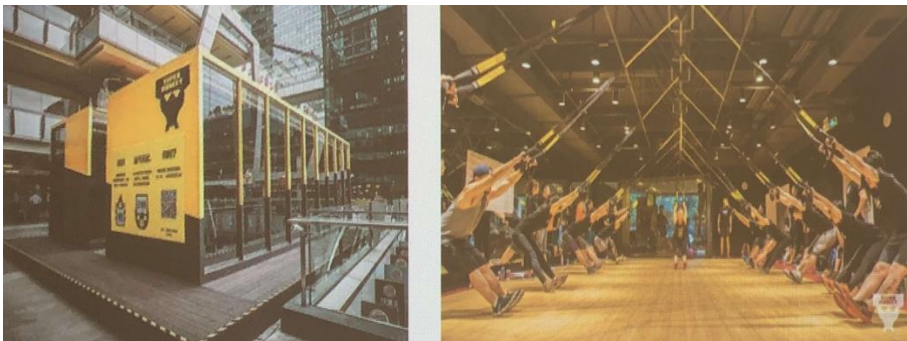
**Insta 360**

- The biggest Panoramic Shooting hardware in the world;
- Insta360 ONE 进驻苹果全球直营店及官方商城, 成为首个进驻苹果的全景影像品牌;
- Insta360 成为全球首个与 Adobe 合作拓展软件功能的全景影像品牌

Heytea は、マーケティングが上手くて成功しているショップ。Codemao はプログラムを学べるソフト会社。



実際視察を行った SUPER monkey は 10 億人民元の企業であり、携帯予約が強みになったジム。



今年は開市 40 周年の深圳の起業家教育について。  
 スタートアップ向けの教育をしっかり行い、プログラム教育などに力を入れている。  
 毎月、中国ユニコーン企業の人を呼んで講演を 2 回開催。  
 女性の起業家は、これから伸びると思う。ただし男女差はあまりない。  
 中国は 70% ぐらいの進学率





## <視察を終えて>

2日間という短期間の中で、深圳のスピード感、そして、日本のように完璧でなくとも、トライアンドエラーを繰り返し行いながら、製品化していく方法を目の当たりにし、驚くとともに、だからこそ急速な発展があるのだというのが実感であった。私たちが想像していた中国を遥かに超えている。チャレンジする人をどんどん受け入れることを国も支援し、また、世界を見ながらの動き故、世界でも名前があがる企業がここに数社も存在しているのだと思う。

チャレンジ精神、スピード感、トライアンドエラーを繰り返してのブラッシュアップ、受け入れ態勢など本県としても見習うべきことも多く、大変有意義な視察であった。

ただ生活者としては、受け入れ体制ができるのだろうが、旅行者としては、商品購入のみならず、地下鉄のチケットも買いづらく不便を感じることも多かった。長崎においても、生活者と旅行者の利便を同等にしっかりと考えていくべきである。

人口減少著しい我が県においては、いかにテクノロジーを導入するのかは大きな課題であり、私自身非常に考えさせられた。それを踏まえて、8月には福祉分野と働き方分野におけるテクノロジー導入に関するシンポジウムを開催することになったのも今回の視察が大きなきっかけとなり、それをさらに、行政においても提案していく予定である。